

HFJ-350M 用 1.8 MHz/1.9 MHz 拡張コイル

MODEL HFJ-L1.8/1.9

取扱説明書

ご購入求めいただきまして誠に有難うございます。

安全にお使いいただくために！

ご使用前に、この取扱説明書と HFJ-350M の取扱説明書をよくお読みの上で正しくお使いください。この取扱説明書は、必要なときにご覧になれるように大切に保管してください。

【特長】

HFJ-350M 用の 1.8 MHz/1.9 MHz 拡張コイルです。HFJ-350M に付加することにより、業界初のポータブル用 1.8 MHz 帯 /1.9 MHz 帯ロッドアンテナとして使用可能です。

【仕様・規格】

- 周波数：1.8 MHz 帯 /1.9 MHz 帯
- 全長（HFJ-350M にコイル付加時の最長）：1920 mm
- コイル長：255 mm
- 最大入力：100 W (Peak) , 50 W (Ave.)
- 質量：約 145 g

【製品構成】

1.8 MHz/1.9 MHz 拡張コイル

⚠ 取付・設置上の注意

- 接続用ケーブルのコネクターとアンテナコネクターが同じ種類であることを確認してください。
- 本製品は HFJ-350M 以外のアンテナに使用しないでください。
- 近くに他のアンテナや建物等の障害物があると、VSWR の悪化や共振周波数がずれる原因になります。その場合はアンテナの取付位置等の変更をお願いします。
- アンテナ基台はフェンス等に確実に取り付けてください。ゆるんだ状態で使用すると強風でアンテナに飛ばされたり落下する恐れがあります。
また、アンテナやラジアルはアンテナ基台に確実に取り付けてください。カウンターポイズを取り付けるときはコネクター部の R 型圧着端子に確実に取り付けてください。接触不良で面的アース量（アースの面積）不足の場合、VSWR が下がらない場合が多々あります。

⚠ 取扱い・運用上の注意

- アンテナの取り付け・取り外しやエレメント調整などのとき、ロッド先端で目などをついたりしないよう取り扱いください。
- 送信時及びその直後にはアンテナに触れないでください。発熱により火傷する可能性があります。
- 固定用のねじ類は脱落事故が無いように、しっかりと締め付けてください。近くに他のアンテナや建物等の障害物があると、VSWR の悪化や共振周波数がずれる原因になります。その場合はアンテナの取付位置等の変更をお願いします。
- ロッドを伸ばして使用するときは、高さ方向の障害物がないかどうか常に注意してください。
- 防水構造ではありませんので、野外で雨天時に使用しないでください。
- 表面が濡れた状態では使用せず、完全に乾燥した状態で使用してください。

【製品イメージ】

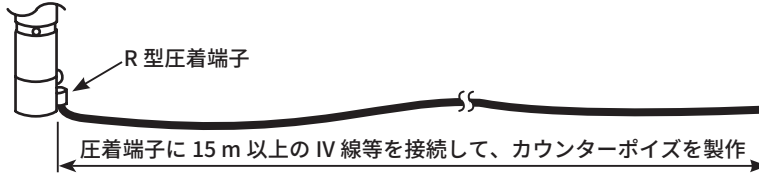
1.8 MHz/1.9 MHz 拡張コイル
接続&ロッドアンテナ最短時



【図 1】

【接続と調整方法】

- コネクター部の R 型圧着端子に 15 m 以上の IV 線等を接続して、カウンターポイズを製作してください。
- ベースコイルの上側ねじ部に 3.5 MHz 拡張コイルを接続し、さらに 3.5 MHz 拡張コイルの上側ねじ部に 1.8 MHz/1.9 MHz 拡張コイルを接続し、その上にロッドアンテナ部を接続します (図 1 参照)。
- ショートプラグは使用せず、ロッドアンテナの長さを調整して周波数を調整します (図 3 参照)。



【図 2】

【使用上のアドバイス】

- 接続コネクターにアンテナをしっかりと差し込み、時計方向にねじ込んで結合させます。
- より良く通信するために、アンテナをなるべく垂直に取り付けてください。
- コネクター部の近くに R 型圧着端子を 1 ヶ所設けているので、そこにカウンターポイズとする IV 線等を取り付けるのをお勧めします。カウンターポイズの長さは環境によって変わるので、長めのものご用意ください。[撚り線 3.5SQ] に対応
- ロッド長やカウンターポイズの長さお調整して、アンテナの SWR を確認します。うまく調整できない場合は、別途アンテナチューナー (CAT-300 等) の使用を検討ください。

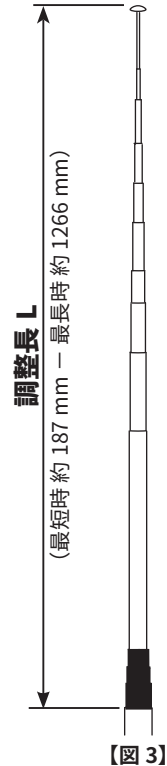
【ロッドエレメントの調整長 L (目安値)】 (図 3 参照)

1.8 MHz : 1170 mm

1.9 MHz : 1040 mm

【ロッドエレメント 1cm 当たりの変化量 (目安値)】

1.8 MHz/1.9 MHz : 7 kHz



【図 3】

⚠ 使用上の注意

- 本製品は、アマチュア無線用として設計されています。アンテナとしての目的以外に使用しないでください。
- 規格以上の出力で使用しないでください。発熱や破損の原因になります。
- 連続出力時にはエレメントの発熱と SWR の悪化の可能性があります。その場合は出力を抑えるか、または出力する間隔を多めにとるようにお願いします。
- アンテナの調整は正しく行ってください。SWR が悪い場合には、発熱・故障の原因になる可能性があります。
- お客様自信での分解、修理、改造等は、故障の原因になるので行わないでください。
- HFJ-350M のロッド部分が折れた曲ってしまった場合は修理が不可能です。丁寧に扱いください。

【点検とお手入れ】

- 異常と思われる現象が発生したとき、直ちに使用を中止し原因を確認してください。原因が見つからなかった場合は、お買い求めの販売店などにお申し付けください。
- 運用の前にアンテナの SWR をチェックして、正常に働いていることを確認してください。
- 定期的に取り付けねじ・金具類が緩んでいないかチェックして、緩んでいる部品などは増し締めを行ってください。

【アフターサービス】

- 不慮の事故などによる各部品の破損、長期間のご使用による劣化交換のために補充部品を用意しておりますので、お買い求めの販売店などにお申し付けください。
- 取り付け組立方法・その他技術的なご質問などは、弊社サービス係までお問合せください。

コメット株式会社 <http://www.comet-ant.co.jp/>

〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻 4-18-2
TEL : 048-839-3131(代) / FAX : 048-839-3136

品質向上のため、予告なく外観・仕様を変更することがありますのでご了承ください。

1st edition, Feb 2020. Printed in JAPAN.
Copyright (C) 2020 COMET CO., LTD. All Rights Reserved.